



平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月10日

上場会社名 コーセル株式会社

上場取引所 東

コード番号 6905 URL <http://www.coesel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷川 正人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 小西 有吉

TEL 076-432-8151

四半期報告書提出予定日 平成26年3月27日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績(平成25年5月21日～平成26年2月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	15,597	19.4	2,938	53.0	3,039	47.3	1,855	60.1
25年5月期第3四半期	13,066	△12.2	1,920	△25.0	2,063	△24.6	1,158	△26.7

(注) 包括利益 26年5月期第3四半期 1,959百万円 (27.2%) 25年5月期第3四半期 1,540百万円 (9.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年5月期第3四半期	47.96	—
25年5月期第3四半期	29.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年5月期第3四半期	39,162	36,413	93.0	941.30
25年5月期	38,017	35,305	92.9	912.66

(参考) 自己資本 26年5月期第3四半期 36,408百万円 25年5月期 35,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年5月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年5月期	—	12.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	11.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年5月21日～平成26年5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	19,750	12.4	3,510	44.1	3,650	38.0	2,280	50.7	58.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年5月期3Q	39,012,000 株	25年5月期	39,012,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年5月期3Q	332,617 株	25年5月期	332,532 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期3Q	38,679,391 株	25年5月期3Q	38,715,595 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による財政金融政策などを背景に円安・株価高が進行し、企業収益の改善や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかながら回復基調で推移いたしました。

世界経済においては、米国では個人消費が堅調に推移するなど緩やかな回復傾向で推移し、またヨーロッパではドイツなどの主要国経済が牽引する形で回復の兆しが見え始めるとともに、アジアでは中国経済の減速感があるものの成長を維持するなど、総じて明るさを取り戻す兆しが見え始めてまいりました。

当社グループが属するスイッチング電源の国内市場におきましては、スマートフォン、タブレットPC等通信端末の普及拡大・高機能化にともない、通信速度向上に向けたインフラ整備需要が拡大いたしました。また、エネルギーマネジメントシステムの導入、LED化など省電力化に向けた需要とともに、医療機器関連の需要も堅調に推移いたしました。

海外市場におきましては、第3四半期に入り、各国・地域の景況感の改善、円安による価格競争力の回復など、回復の兆しが出てまいりました。

このような情勢の中で当社グループは、部門連携を強化しつつ、新製品を軸とした成長業界・企業への提案活動に注力してまいりました。

新製品につきましては、汎用一般産業機器向けミドルレンジユニット電源「PLAシリーズ」の拡充品「PLA100W/150W」、大電力・高効率パワーモジュール電源（安定化バスコンバータ）「CHS300」、世界市場向けインチ規格3×5インチ外形AC-DC電源「GHAシリーズ」、AC-DC電源「SNTUシリーズ」、1Uラック搭載可能高効率AC-DC電源「FETAシリーズ」、DINレール専用AC-DC電源「KHシリーズ」の拡充品「KH30W/60W/90W/480W」を市場投入いたしました。

開発・生産面では、TQM（総合的品質管理）活動を継続展開し、部品不良および工程内不良の低減に注力するとともに、顧客起点のニーズを捉えた高付加価値製品・サービスの実現に向けた活動を進めてまいりました。また、CO₂（二酸化炭素）削減等の環境問題にも引き続き取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は159億5百万円（前年同期比22.2%増）、売上高は155億97百万円（同19.4%増）となり、経常利益は30億39百万円（同47.3%増）、四半期純利益は18億55百万円（同60.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本生産販売事業

日本国内では、スマートフォン、タブレットPC等の普及、高機能化にともなう通信インフラ向けの需要が増加するとともに、省エネルギー関連機器、医療機器向けの需要が堅調に推移いたしました。

このような情勢の中、成長業界・企業へのデザイン・イン活動の強化と新製品の拡販活動に注力するとともに、新規顧客の開拓、重点顧客の深堀活動に取り組んでまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、120億48百万円（前年同期比15.9%増）、セグメント利益は28億62百万円（同50.4%増）となりました。

②北米販売事業

米国では、積極的な金融緩和等が金融市場を下支えし、各種景気指標が改善するなど景況感は回復傾向にあります。設備投資の動きはいまだ鈍化したままであり、総じて足踏み状態となりました。

このような情勢の中、昨年度に引き続き、新規プロジェクト獲得件数の増加と新規顧客獲得を重点に営業活動を展開し、新製品拡販と新規顧客開拓に注力した効果が現れてまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、13億95百万円（前年同期比20.9%増）、セグメント利益は50百万円（同598.3%増）となりました。

③ヨーロッパ販売事業

ヨーロッパでは、ギリシャを発端とした債務危機問題による不安は緩和されてきましたが、企業景況は依然として冷え込んでおり、牽引役であるドイツでは回復傾向があるものの、制御機器関連や通信・放送機器、計測機器関連等の需要が低迷し、低調に推移いたしました。

このような情勢の中、ヨーロッパ市場における販売ネットワークの整備に取り組み、新製品拡販と新規顧客開拓に注力してまいりましたが、市場の冷え込みとプロジェクト案件の競争激化により受注高（外貨ベース）は前年同期比で減少いたしました。

この結果、外部顧客への売上高は、5億65百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント損失は10百万円（前年同期はセグメント損失3百万円）となりました。

④アジア販売事業

中国では、経済成長率や景気指標の低下等、懸念材料があるものの、内需関連の健闘、輸出関連プロジェクトの回復もあり、全体的に好調に推移いたしました。また、韓国でも半導体設備関連の需要が回復傾向にあり、明るさが見えてまいりました。しかしながら、アセアン地域においては、依然としてヨーロッパ経済低迷等の影響を受け、全般的に低調に推移いたしました。

このような情勢の中、現地営業マン・技術者の育成に取り組むとともに、中国、韓国、インドで新規顧客・プロジェクトの獲得活動や新製品拡販活動の効果が現れ、受注高は前年同期比で増加いたしました。

この結果、外部顧客への売上高は、15億88百万円（前年同期比63.2%増）、セグメント利益は75百万円（同148.5%増）となりました。

⑤中国生産事業

新興国市場をターゲットにした中国生産事業においては、低コスト化の推進と生産体制の強化に取り組んでまいりました。ミドルレンジユニット電源「PLAシリーズ」の拡充品「PLA100W/150W」、DINレール専用AC-DC電源「KHシリーズ」の拡充品「KH30W/60W/90W/480W」の生産・販売を開始し、新製品の拡販活動にも努めてまいりました。

この結果、セグメント間の内部売上高は、1億96百万円（前年同期比212.3%増）、セグメント損失は38百万円（前年同期は、セグメント損失28百万円）となりました。

なお、参考までに記載すると事業部門別の業績は、次のとおりであります。

1) 受注高及び受注残高

事業部門	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年5月21日 至 平成26年2月20日)		当第3四半期連結会計期間末 (平成26年2月20日)	
	受注高(百万円)	対前年同期増減率	受注残高(百万円)	対前年同期増減率
ユニット電源	10,152	15.1%	1,211	8.8%
オンボード電源	5,290	37.1%	922	35.4%
ノイズフィルタ	462	36.3%	52	104.2%
合計	15,905	22.2%	2,187	20.1%

2) 売上高

事業部門	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年5月21日 至 平成26年2月20日)	
	売上高(百万円)	対前年同期増減率
ユニット電源	10,044	12.8%
オンボード電源	5,114	33.9%
ノイズフィルタ	438	28.7%
合計	15,597	19.4%

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ11億44百万円（3.0%）増加し、391億62百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末比35億50百万円（21.6%）増加しました。これは、現金及び預金が5億52百万円（28.7%）、受取手形及び売掛金が11億46百万円（20.0%）、有価証券が16億98百万円（26.1%）、たな卸資産が2億9百万円（11.3%）それぞれ増加したことが主因であります。

固定資産は、前連結会計年度末比24億5百万円（11.1%）減少しました。これは、投資有価証券が24億67百万円（13.9%）減少したことが主因であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ36百万円（1.3%）増加し、27億49百万円となりました。これは、買掛金が2億73百万円（33.6%）増加した一方で、賞与引当金が1億54百万円（46.8%）、退職給付引当金が85百万円（32.1%）それぞれ減少したことが主因であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ11億8百万円（3.1%）増加し、364億13百万円となりました。株主資本は、剰余金の配当8億50百万円がありましたが、四半期純利益の計上により前連結会計年度末比10億4百万円（2.8%）増加しました。また、その他包括利益累計額は、株式の時価評価差額金の減少や為替換算調整により前連結会計年度末比1億3百万円増加しました。この結果、自己資本比率は93.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、平成25年12月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,921,003	2,473,263
受取手形及び売掛金	5,726,417	6,873,178
有価証券	6,508,021	8,206,092
商品及び製品	682,456	637,653
仕掛品	46,835	101,233
原材料及び貯蔵品	1,128,640	1,328,867
繰延税金資産	246,027	176,143
その他	172,875	186,283
貸倒引当金	△6,023	△6,154
流動資産合計	16,426,254	19,976,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,544,646	3,565,263
減価償却累計額	△2,328,186	△2,407,266
建物及び構築物（純額）	1,216,460	1,157,996
機械装置及び運搬具	5,091,820	5,240,658
減価償却累計額	△4,182,960	△4,241,059
機械装置及び運搬具（純額）	908,859	999,599
工具、器具及び備品	4,896,232	5,150,450
減価償却累計額	△4,590,913	△4,773,982
工具、器具及び備品（純額）	305,319	376,467
土地	1,118,800	1,119,440
建設仮勘定	9,237	—
有形固定資産合計	3,558,677	3,653,503
無形固定資産		
投資その他の資産	87,711	68,387
投資有価証券	17,724,091	15,256,392
繰延税金資産	174,879	165,750
その他	46,294	41,989
投資その他の資産合計	17,945,265	15,464,132
固定資産合計	21,591,654	19,186,023
資産合計	38,017,909	39,162,585

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	815,662	1,089,642
未払金	146,894	204,739
未払法人税等	585,374	552,196
賞与引当金	330,444	175,656
その他	361,926	343,505
流動負債合計	2,240,303	2,365,739
固定負債		
退職給付引当金	266,850	181,143
繰延税金負債	97	—
その他	205,578	202,400
固定負債合計	472,526	383,543
負債合計	2,712,829	2,749,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,055,000	2,055,000
資本剰余金	2,288,350	2,288,350
利益剰余金	31,170,848	32,175,022
自己株式	△283,620	△283,724
株主資本合計	35,230,578	36,234,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213,273	173,065
為替換算調整勘定	△142,785	1,089
その他の包括利益累計額合計	70,487	174,155
少数株主持分	4,013	4,499
純資産合計	35,305,079	36,413,303
負債純資産合計	38,017,909	39,162,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月21日 至平成25年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月21日 至平成26年2月20日)
売上高	13,066,750	15,597,867
売上原価	9,246,369	10,414,417
売上総利益	3,820,380	5,183,449
販売費及び一般管理費	1,900,214	2,244,767
営業利益	1,920,166	2,938,682
営業外収益		
受取利息	101,253	90,323
受取配当金	18,750	21,505
為替差益	12,110	—
受取補償金	1,075	12,699
その他	12,474	16,198
営業外収益合計	145,663	140,727
営業外費用		
為替差損	—	39,701
自己株式取得費用	2,644	—
その他	15	179
営業外費用合計	2,660	39,880
経常利益	2,063,169	3,039,528
特別利益		
固定資産売却益	50	641
特別利益合計	50	641
特別損失		
固定資産売却損	290	686
固定資産除却損	3,818	6,916
投資有価証券評価損	111,975	—
特別損失合計	116,084	7,603
税金等調整前四半期純利益	1,947,136	3,032,566
法人税、住民税及び事業税	758,454	1,075,965
法人税等調整額	31,182	101,349
法人税等合計	789,636	1,177,314
少数株主損益調整前四半期純利益	1,157,499	1,855,252
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,203	130
四半期純利益	1,158,703	1,855,121

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月21日 至平成25年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月21日 至平成26年2月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,157,499	1,855,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	199,330	△40,207
為替換算調整勘定	183,283	144,230
その他の包括利益合計	382,613	104,023
四半期包括利益	1,540,113	1,959,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,540,807	1,958,789
少数株主に係る四半期包括利益	△693	486

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年5月21日 至 平成25年2月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,396,006	1,154,786	542,524	973,433	—	13,066,750	—	13,066,750
セグメント間の 内部売上高	2,132,115	—	—	—	63,068	2,195,183	△2,195,183	—
計	12,528,121	1,154,786	542,524	973,433	63,068	15,261,934	△2,195,183	13,066,750
セグメント利益 又は損失 (△)	1,902,781	7,287	△3,057	30,567	△28,356	1,909,222	10,943	1,920,166

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額10,943千円は、セグメント間の取引消去22,858千円及び棚卸資産の未実現損益の消去△11,914千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失 (△) の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年5月21日 至 平成26年2月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,048,402	1,395,585	565,131	1,588,748	—	15,597,867	—	15,597,867
セグメント間の 内部売上高	2,741,841	—	—	—	196,961	2,938,802	△2,938,802	—
計	14,790,243	1,395,585	565,131	1,588,748	196,961	18,536,669	△2,938,802	15,597,867
セグメント利益 又は損失(△)	2,862,536	50,891	△10,851	75,975	△38,692	2,939,859	△1,176	2,938,682

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,176千円は、セグメント間の取引消去15,056千円及び棚卸資産の未実現損益の消去△16,233千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失(△)の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。